



夢実現5月

○ 子どもたちは、多くの地域の方々に見守られ、「おはようございます」と元気にあいさつをして登校しています。

何げない光景で、「**当たり前のこと**」と考えがちですが、今、社会では「**当たり前**にできない」ことが増加しているように思います。

だからこそ、毎日繰り返される**当たり前**の光景を大切に、「**感謝する心**」を忘れない星ヶ峯西小の子どもたちに育てて欲しいと願います。

◇ 学校教育目標

■ P T A 総会では、詳細のお話ができず、改めて目標等を掲載します。本年度も保護者や地域の期待にたえられる学校を目指し職員一同頑張ります。

○ 校 訓

〈かしこく〉知 〈なかよく〉徳 〈たくましく〉体

○ 学校教育目標

よく考え よく思いやり 心身ともにたくましく
生きる力と笑顔があるふれ子どもの育成



○ キャッチフレーズ

みんなで助け合い みんなで学ぶ
笑顔あふれる星西の子
” Better than before ”

○ 目指す子ども像

**進んで学び よく考え
確かな学力を身に付ける**

- ① 単元・学期末テスト85%
- ② アンダーチーバー0
- ③ 家庭学習の充実
(20分+10分×学年)

**心やさしくて 思いやり
があり 誰とでも仲良く**

- ① 進んであいさつ100%
- ② 「だれがするの」の
「だれか」になろう
- ③ 読書冊数
低150冊 中100冊 高80冊

**進んで体をきたえ
元気で粘り強い**

- ① むし歯治療率 80%
- ② チャレンジかごしま挑戦
(縄跳び)
- ③ 精一杯のそうじ「さしすせそ」

※ 各家庭の子育ての方針と本校の教育目標等が同じベクトルを向いて進められるように、御協力と御理解をお願いします。

INFORMATION

- 行事等については、原則、本校ホームページのお知らせ・ブログ欄に掲載します。HPも登録していただき様々な情報をご覧ください。
- 安心安全メールの登録が500件を超えました。まだの方は今すぐ登録を〓(_)〓



「不自由との出会い」と生きる力

〜登校時を考える〜



わたしは、薩摩川内市にある少年自然の家に勤務したことがあります。北薩地区にある多くの学校が宿泊学習として利用する施設です。その施設の教育理念の中に「**不自由との出会い**」がありました。

子どもたちにとって、日常生活の中で「不自由との出会い」とはどんなことでしょうか。五年生の子どもに聞いたところ、『テレビが見られない、ゲームができない』などの回答が多くありました。

ちよつと話は変わりますが、すでに沖縄・奄美は梅雨に入りました。もうしばらくすると九州南部もじめじめした時期がやってきます。

そこで、梅雨や雨天時における、車での登校について考えてみたいと思います。雨が降ると保護者の送りが多くなるのはどの学校も同じです。理由は「雨にぬれる」「登校時間がかかる」「子どもが送ってとせがむ」等だと思えます。しかし、それに応え、送ることが保護者としての本当の役目なのでしょうか

これから、子どもたちは様々な経験を積み成長していきます。楽しいことばかり、都合のいいことばかりではありません。時には、涙を流した

り耐えないといけないこともたくさん出てきます。雨が降ったら、

① シャツや靴下の着替えの用意させる。

② タオル、ビニール袋を持たせる。

③ 雨ガッパや雨靴を履かせる。

など、予想される状況に対応するために準備し、**「歩いて行こうか」**と、背中を押すことも保護者としての務めではないかと思えます。

このことが、子どもたちにとっての

「**不自由との出会い**」であり、「**生きる力**」を育む日常体験となると考えます。

親として子どもに好かれることは当然うれしいことですが、一瞬の楽天的な喜びを与える愛と、将来を見据え、心を鬼にして嫌われる対応も子育ての中では必要です。

『**ほんとうの愛や優しさとは**』何なのでしよう。

日常的な登校についても歩くことを基本とし、遠距離通学の子どもは途中で降ろすなど、小児生活習慣病予防や体力向上の面からも**「歩育」**について、今一度子どもと語ることも大切ですが

もちろん「体調不良や疾病等の場合は別ですが」と「安全・安心」を第一に考えて。

『**風を感じ、木々を眺め、雲を追い、季節のにおいをかきながら**』故郷『**星ヶ峯**』の景色です。